



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月13日

上場会社名 株式会社シノプス 上場取引所 東
 コード番号 4428 URL <https://www.sinops.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 南谷 洋志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 島井 幸太郎 TEL 06 (6341) 1225
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	204	31.8	△41	—	△27	—	△19	—
2020年12月期第1四半期	154	△14.2	△69	—	△73	—	△51	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△3.21	—
2020年12月期第1四半期	△8.59	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,688	1,314	77.5
2020年12月期	1,718	1,329	76.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 1,308百万円 2020年12月期 1,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,201	32.1	100	340.2	112	852.1	59	638.9	9.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	6,145,000株	2020年12月期	6,107,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	123株	2020年12月期	80株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	6,107,315株	2020年12月期1Q	6,030,328株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算説明資料は、TDnetで開示するとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

a. 経営環境

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響は大きく、経済活動の回復に向けた動きは鈍く、先行きは極めて不透明な状況が継続しております。当社の主要顧客である小売業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による在宅勤務、外食控え等からくる巣ごもり消費拡大への対応、感染予防を目的とする新しい生活様式の浸透によるマスクや消毒液などの衛生管理用品の需要急増への対応や店舗における感染拡大防止策の実施等、非常に激しい変化が求められました。

また、小売業界においては、労働需給のひっ迫による人件費、物流費の上昇や業種業態を超えた顧客の獲得競争に加え、持続可能な開発目標(SDGs)の採択に基づいた食品ロス削減運動も社会課題として対応が急がれております。そのため、省力化・食品ロスの削減に貢献できる当社の自動発注システムに対するニーズが高まっており、今後もさらなる市場拡大が見込めます。

このような急激な環境変化の中で、当社はクラウドサービス中心への方針転換を掲げ、タイムリーに店頭在庫を把握できる機能や惣菜カテゴリに特化した自動発注サービスを中心に新サービスの開発を急ピッチで進めてまいりました。

その結果、当社の導入実績は、2021年3月31日時点で契約企業数87社(前年同期比11社増)、クラウドサービスの稼働アカウント数1,817アカウント(前事業年度末比457アカウント増)(注)、その他の稼働拠点数5,643拠点(前年同期比569拠点増)に増加しております。当第1四半期累計期間における売上高は204,152千円(前年同期比31.8%増)、営業損失は41,128千円(前年同期は69,490千円の営業損失)、経常損失は27,605千円(同73,576千円の経常損失)、四半期純損失は19,575千円(同51,785千円の四半期純損失)となりました。

(注) アカウント数とはクラウドサービス利用数。1店舗で3サービス利用している場合は3アカウント。

b. 経営成績の分析

(単位:千円)

	2020年12月期 第1四半期累計期間	2021年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	154,864	204,152	49,287	31.8%
売上原価	131,975	135,182	3,206	2.4%
売上総利益	22,888	68,970	46,081	201.3%
販売費及び一般管理費	92,379	110,099	17,719	19.2%
営業損失	△69,490	△41,128	28,362	—
経常損失	△73,576	△27,605	45,971	—
四半期純損失	△51,785	△19,575	32,209	—

①売上高

パッケージ売上高は、既存ユーザーの店舗追加が主要因となり、10,458千円(前年同期比9,013千円増・623.9%増)となりました。導入支援売上高は前期からの継続プロジェクトが順調に進捗したことやクラウドサービスの導入支援が増加したことが主要因となり、48,605千円(同24,943千円増・105.4%増)となりました。サポート売上高は、既存ユーザーの店舗展開が順調に進んだことが主要因となり、サポート売上高72,631千円(同11,553千円増・18.9%増)となりました。クラウド売上高(過去の経営成績の分析におけるレンタル売上高を含めております)は、新規のクラウド利用アカウント数が増加したことが主要因となり、クラウド売上高72,457千円(同3,776千円増・5.5%増)となりました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は204,152千円(同49,287千円増・31.8%増)となりました。

②売上総利益

当第1四半期累計期間は、導入支援案件の増加に伴い仕掛品残高が増加した一方で、クラウドサービスの積極的な製品開発や減価償却費が増加したことが主要因となり、売上原価が前年同期比3,206千円増加(前年同期比2.4%増)となりました。その結果、売上総利益が68,970千円(同46,081千円増・201.3%増)となりました。

③営業損益・経常損益

当第1四半期累計期間は、クラウドサービスの拡販を目的とした営業部門の社員数増加や東京都との共同プロジェクト関連費用が増加したことが主要因となり、販売費及び一般管理費が前年同期比17,719千円増加(前年同期比19.2%増)となりました。その結果、営業損失が41,128千円(前年同期は69,490千円の営業損失)となりました。

また、東京都との共同プロジェクト関連の補助金収入を営業外収益として計上しており、経常損失は27,605千円(同73,576千円の経常損失)となりました。

④四半期純損益

当第1四半期累計期間における四半期純損失は19,575千円(前年同期は51,785千円の四半期純損失)となりました。

なお、当社は「sinops事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期会計期間末における総資産は1,688,926千円(前事業年度末比30,007千円の減少)となりました。主な要因は、現金及び預金が92,251千円、仕掛品が8,884千円、その他流動資産に含まれる未収入金が12,498千円、無形固定資産が10,006千円それぞれ増加した一方で、売掛金が162,254千円減少したこと等によるものであります。

②負債

負債は374,324千円(前事業年度末比15,301千円の減少)となりました。主な要因は、賞与引当金が28,752千円、その他流動負債に含まれる前受金が13,483千円増加した一方で、その他流動負債に含まれる未払金が40,776千円、長期借入金が11,400千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

純資産は1,314,602千円(前事業年度末比14,706千円の減少)となりました。主な要因は資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,598千円増加した一方で、利益剰余金が19,575千円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の業績予想につきましては、2021年2月10日の「2020年12月期決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

また、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077,266	1,169,518
売掛金	256,508	94,254
仕掛品	786	9,671
その他	63,271	78,046
流動資産合計	1,397,834	1,351,491
固定資産		
有形固定資産	37,475	35,839
無形固定資産	168,043	178,050
投資その他の資産	115,581	123,546
固定資産合計	321,100	337,435
資産合計	1,718,934	1,688,926
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,915	8,320
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	34,200	34,200
未払法人税等	2,238	2,426
賞与引当金	—	28,752
製品保証引当金	12,252	16,828
受注損失引当金	2,219	—
その他	164,278	128,610
流動負債合計	323,104	319,136
固定負債		
長期借入金	62,950	51,550
退職給付引当金	3,571	3,637
固定負債合計	66,521	55,187
負債合計	389,626	374,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,811	417,409
資本剰余金	374,241	377,839
利益剰余金	533,495	513,920
自己株式	△162	△233
株主資本合計	1,321,385	1,308,935
新株予約権	7,922	5,666
純資産合計	1,329,308	1,314,602
負債純資産合計	1,718,934	1,688,926

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	154,864	204,152
売上原価	131,975	135,182
売上総利益	22,888	68,970
販売費及び一般管理費	92,379	110,099
営業損失(△)	△69,490	△41,128
営業外収益		
受取利息	4	5
補助金収入	—	13,596
その他	108	147
営業外収益合計	113	13,748
営業外費用		
支払利息	9	191
売上割引	31	34
株式公開費用	4,140	—
その他	17	—
営業外費用合計	4,199	225
経常損失(△)	△73,576	△27,605
特別損失		
固定資産除却損	42	—
特別損失合計	42	—
税引前四半期純損失(△)	△73,619	△27,605
法人税、住民税及び事業税	277	238
法人税等調整額	△22,111	△8,268
法人税等合計	△21,834	△8,030
四半期純損失(△)	△51,785	△19,575

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。